

KAGURA OF MIYAZAKI
みやざきの神楽

TAKANABE KAGURA

高鍋神楽 国立能楽堂公演

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

2026年10月27日[火]

開場 12:30 開演 13:30 終演 17:30

Takanabe Kagura | National Noh Theatre | 2026, October 27 tue.

主催：宮崎県／共催：高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町／後援：芸能学会

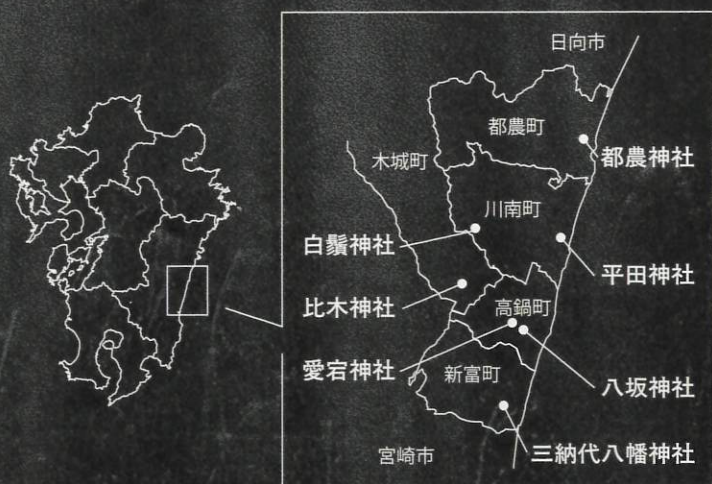
“ヤマに集い——恵みを寿ぐ”

国立能楽堂公演

高鍋神楽

“ヤマに集い——恵みを寿ぐ”

高鍋神楽とは、旧高鍋藩城附地の新納院と呼ばれた地域に受け継がれている神楽の総称です。令和8年3月には、これらの神楽が「高鍋神楽」の名称で国の重要無形民俗文化財に指定されました。今回の公演は、その指定記念の奉納でもあります。「高鍋神楽」の典型は、明治時代前期に現在のかたちとなった「六社連合大神事」で、これは高鍋町・新富町・木城町・川南町・都農町の方々によって継承されてきました。神楽は、「山（ヤマ）」と呼ばれる巨大なコニーデ型の祭壇を設けて斎行され、この地域ならではの特色をもった舞演目が繰り広げられます。



プログラム

12:30 開場

13:30 主催者挨拶

13:35 基調講演

14:00 神楽公演

① 一番神楽【三納代神楽】 ② 花の手舞【都農神楽】

15:10 休憩

15:30 共催者挨拶

③ 将軍舞【都農神楽】 ④ 開開神楽【比木神楽】

⑤ 開開鬼神【比木神楽】 ⑥ 寿の舞【比木神楽】

⑦ 舞揚【比木神楽】 ⑧ 戸開雄舞【三納代神楽】

⑨ 神送り【比木神楽】

17:25 保存会挨拶

17:30 終演



① 一番神楽【三納代神楽】

烏帽子をかぶり、赤の狩衣に白袴を着用し、鈴と扇を持ちます。優雅で気品に満ちた舞であり、神庭を清め、神々をお迎えする役割を担います。



④ 開開神楽【比木神楽】

二人舞で、閉扇の左手を前に出して舞い始めます。神庭を回り対角に位置し、両手を大きく開いたのち並列となり所作を合わせます。次に開扇となり膝を上げ大股で歩き両手を身体の前で回し、胸前で止め舞います。舞いの決めでは、片膝をつきます。



⑦ 舞揚【比木神楽】

烏帽子をかぶり、白素襖に白袴を着用し、左手に幣、右手に鈴を持ちます。左手を肩の高さに保ちながら、胸元で鈴を振り、静かに優雅に舞います。神職舞ともいわれ、神より授かった力や加護への感謝を表す舞です。



【基調講演】『万葉集』の「モリ」と「ミモロ」と

上野 誠

國學院大學文学部特別専任教授 / 奈良大学名誉教授

万葉文化論を標榜し、ユニークな視点とソフトな語り口で人気の万葉研究者。多数のメディアにも出演し、『万葉集』を学ぶことの楽しさを多くの人びとに伝えている。『万葉学者、墓をしまい母を送る』（講談社）で第68回日本エッセイスト・クラブ賞など受賞。



② 花の手舞 [都農神楽]

烏帽子をかぶり、紺の舞衣を着用します。右手に鈴、左手に扇子を持ち、膝を大きく上げて踏み出しながら、位置を変え、向かい合い、鈴と扇を用いて舞います。花が咲くさまにも重なる華やかな舞であり、豊作や繁栄への願いと、生命の力、再生の象徴を表しています。



⑤ 関開鬼神 [比木神楽]

一人舞で、五色面帽子、茶色の長い毛頭、白面を着け、右手に鬼神杖を持った勇壮な舞です。神楽の途中に関開神楽の舞手2人が舞い込み、鬼神が「肩もみ」「平押し」を行うなど3人で演舞します。素盞鳴命が稲田姫を娶って喜ばれたときの舞と伝えられます。



⑧ 戸開雄舞 [三納代神楽]

鬼面とケガシラを着けて登場し、白衣に裁着袴を着用し、紫の袴をかけます。神前には岩戸が設けられ、天照大神が隠れた天岩戸を開く神話を表現します。神々の力によって岩戸が開かれ、再びこの世に光がもたらされる様子を表した舞です。



③ 将軍舞 [都農神楽]

子どもが舞いますが、子ども神楽ではありません。面帽子を被り、白衣に裁着袴を着用し、襷をかけて背に矢を負い、右手に鈴、左手に弓を持ちます。将軍が登場し、悪霊や災いを鎮め、地域の平安と五穀豊穡を祈願する舞です。



⑥ 寿の舞 [比木神楽]

烏帽子をかぶり、白翁面を着け、白衣、袖をたくし上げた素襦、袴を着用し、腰に幣を1本差します。翁が長寿や幸福、家内安全を願って舞う、誠におめでたい舞です。ユーモラスな所作も交えながら、会場に笑顔と福をもたらします。



⑨ 神送り神楽 [比木神楽]

二人舞で、面帽子、白衣に白袴を着用し、右手に鈴、左手に開扇を持ちます。芸態は御笠神楽と同じですが、短く舞うのが特徴です。高鍋神楽に伝わる三十三番の神楽のうち、最後に舞われ、神々をお送りする神楽として伝承されています。



【神楽解説】

小川 直之

國學院大學名誉教授

専門は「民俗学」。文部科学省文化審議会専門委員、無形文化遺産保護条約に関する特別委員会委員などを歴任。現在は、宮崎県のみやぎきの神楽魅力発信委員会委員長として、みやぎきの神楽の保存継承や魅力発信に携わる。

伶人（出演者）

【三納代神楽】

岡本 啓二、川上 勝平、清 鴻太郎、東 真次

【都農神楽】

味坂 真聖、黒木 あさひ、黒木 胡桃、黒木 誠貴、黒木 悠貴、黒木 寛貴、後藤 天里、後藤 稟安禮、日高 弘猛、日高 充猛、村中 日登美

【比木神楽】

神田 徳智、佐伯 直人、立元 和哉、長友 暢輝、永友 水晶、夏田 宙、宮山 竜作、森川 太平、薮押 力聖